

平成22年度全国高等学校総合体育大会【美ら島沖縄総体2010】
(第78回 日本高等学校選手権水泳競技大会)

水球競技速報用紙

平成22年8月18日(第2日)

会場: プール

ゲームNo

8

帽子の色 白
沖縄県立那覇商業高等学校

17

天候: 晴れ

2回戦		
6	-	0
4	-	1
2	-	1
5	-	3
EX.		
-		
P.T.		
-		

青 帽子の色
香川県立高松南高等学校

5

審判1: 折笠 敬一
審判2: 岡 弘樹

戦評

大会2日目にやっと地元、那覇商業の登場！応援席も一段と盛り上がる。白:那覇商のチームの要は キャプテン玉川、攻守において存在感を示す。青:高松南は8年連続出場。1枠しかない四国の代表として奮起してほしいところ。

1P 先攻したのは、那覇商、ファーストオフェンスには失敗したものの、次のターンで速攻をかけ、6分04秒、 當間が得点、先制点は那覇商。対する高松南だが、那覇商のマンツーマンマークのプレッシャーにパスミス連発を繰り返してしまい攻めきれない。その後、那覇商の猛攻、ボールを奪うと同時に飛び出し速攻、4分の間に キャプテン玉川が4連続得点、5 - 0と大差をつける。45秒にも那覇商 當間が速攻から得点。大きな声援を受けた那覇商は第1ピリオドから6点の大量リードを奪う。

2P 泳力に勝る那覇商は泳ぎに勢いが出る。何とか1点を返したい高松南だがシュートまでたどりつけない。開始からしばらくフリーが続くが、413、高松南に待望の1点目、 山花が右サイドからカットイン、パスを受け、マークを交わしながらバウフルなプレーで得点、6 - 1とする。3分48秒、那覇商の得点、 玉川がフータープレーで粘り、そのこぼれ球を 宮城が押し込んだ。3分14秒、那覇商 當間のカウンターに高松南はペナルティファールを誘発される、 玉川がシュートを決め、8 - 1。2分21秒、那覇商 田崎が速攻から得点。ここで高松南はタイムアウトを請求して直しを図ろうとする。これで高松南選手個人個人の動きがよくなる、しかしボール運びに時間がかかりコンビネーションがかみ合わない。1分11秒、那覇商 玉川が反対サイド 宮城からのロングパスを6mの位置からリントッチミドルシュートを決め、コンビプレーの良さも発揮する。前半で2ケタ得点の那覇商は試合を勝負つけた。

3P 大差をつけられた高松南だが、2ピリオドの後半から動きが良くなり、シュートの数が増え出したものの決定的なシュートは打たせてもらえない。6分28秒、那覇商の速攻、 當間、 宮城が抜け出す、 宮城が2人のマークを十分に引きつけ、フリーになった 當間が得点。5分06秒、高松南が反撃、 山田がゴール前でバウプレーから得点。その後は得点が動かない状況がしばらく続く。高松南はパスミス、那覇商はオフェンスファールでそれぞれに攻めの機会をつぶしてしまう。2分18秒、那覇商 玉川がカットインからミドルシュートを決め、あと1ピリオドを残し12 - 2と那覇商の大量リード。

4P 3ピリオドの悪い流れをまず断ち切ったのは那覇商、開始早々、 玉川が速攻から得点。これを機に、5分32秒またも 玉川、4分18秒 當間と速攻で連続得点。3分18秒には、セットオフェンスから 田崎がゴール前でのセンタープレーから得点し、16 - 2。しかし、高松南のにも四国代表の意地がある。3分06秒、 山花のプレー、反対サイドからのパスをもらいざまに水着が見えるほど浮き上がり、ミドルシュートを決めた。1分07秒には 山田が速攻から得点、終了間際にもキャプテン蓮井が速攻から得点、合計で5点を奪った。那覇商は2分08秒 大城がカットインから得点を加えており、17 - 5で終了。

大量失点の高松南は、攻撃力不足が否めなかった。脚力を中心に個人の能力を高め、今後のレベルアップに期待したい。 那覇商はこの勢いでベスト4を狙う。 玉川はもちろん、 當間、 宮城の活躍が期待される。

記録者

志水 啓介